



いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

育苗を開始する前に注意点を確認しよう！ 温度10℃以上がポイント！（2次休眠防止・苗低温対策）

種子消毒

種もみには、いもち病やばか苗病などの病菌を保菌していることが多い。
消毒の効果不足にならないように効果の高い消毒をしましょう。
また、種もみを消毒する時や浸種する1日目などの水が冷た過ぎないように
10℃以上を保つことも大切です。

《 薬 剤 消 毒 》

- たっぷりめの水量で、種子の詰め込み過ぎには注意してください。
- 効果を高めるために、10℃以上の水温を確保する。
- 消毒後は、半日以上風乾燥し薬を十分付着させ効果を安定させます。

※※※ 飼料用米の種子は、効果が高い薬剤での消毒をお勧めします。

《 温 湯 消 毒 》

- 乾いた種子を使用してください。
- 温湯消毒をする場合は、最初から最後まで10分間、
60℃で消毒し、速やかに水で冷却する。
- ばか苗病の殺菌には、弱いこともあります。
- 浸種初めは水温を10℃以上に保つこと
（最初の2・3時間が大切！！）



夢あおば
コシヒカリの
約1.26倍と粒が大きい。
播種量を増やさないと
欠株の原因になります。

水温
10℃以上
を確保！

必ず！

24時間浸漬！！

温湯消毒

60℃で10分間

速やかに冷却！

**飼料用イネ専用品種の
播種量には注意して下さい。**

品種による播種量

品種によって播種量が違います。
千粒重によって播種量を増やしましょう。

例) コシヒカリ千粒重24.7 g

夢あおば 千粒重31.1 g

水稻育苗期間の低温対策

- ハウス内の温度を昼間20℃前後に保ち、
夜間10℃以下にならないような保温対策が大切です。
（ストーブや長時間燃えるロウソクを焚く
寒冷紗、育苗シートをかけるなど）

- 寒い日・強風時の苗出し注意

寒い日に育苗器からハウスに移動すると床土が急激に冷えたり
苗自体が寒風にあたりたりして障害が出る可能性があります。
寒風が吹く日の苗出しは控えて育苗器の温度を下げてもう1日程
度置いておくなど、低温に当たらないように管理してください。

夜温
10℃以上
を確保！

